令和８年度全国学力学習状況調査の結果　京都市立醍醐小学校

４月22日に、本校６年生36名を対象に実施された「全国学力学習状況調査」について、結果がまとまりました。本調査は、国語と算数の２教科のテストと同時に、家庭での過ごし方や学習時間を問う調査も実施されており、生活習慣と学力との関係など、本校の子どもたちについて状況をお伝えします。

総合結果（国語・算数）

昨年度は、国語・算数ともに全国平均を下回る結果となりましたが、今年度は国語が全国平均をやや上回りました。どちらの教科においても、昨年度から大きく改善されているのは無回答率です。特に国語の記述式の問題では、無回答率が全国平均の半分程度までになっています。児童が問題に向き合い、最後まであきらめないで取り組もうとする姿勢が見えます。

国語科より

〇動画作成の構成メモを見て、どんなくふうがされているか、適切なものを選択する
〇話し合いをしている様子の文を読んで、考えたことを、自分の経験と結び付けてまとめて書く
▲「心に残った文章」をテーマにした文章を読み、その書き方の特徴として適切なものを選択する

「読むこと」「書くこと」の領域では、正答率が全国平均を上回りました。「知識・技能」、特に言葉の特徴や使い方に関する事項には、まだまだ伸びしろがあります。今後も、全校で「ことば」にこだわって授業を行っていきたいと思います。

算数科より

〇５桁の整数（74291）を、千の位までの概数で表す
▲１cm³の立方体36個すべてを使ってできる直方体の体積を求める
▲イシガメ14匹がカメ全体の20%にあたるときの、カメ全体の数を求める
▲「３分の７」と「４分の７」のどちらが大きいか判断し、その理由を書く

正答率が全国平均を上回ったのは、全16問中４問でした。特に図形に関する問題や割合を用いた問題などを苦手としています。５年生までの学習内容ですが、６年生の学習にも大いにつながりがあります。新しい単元に入る前に振り返りをするなどし、定着をめざしていきます。

児童質問紙調査より①教科に関すること

	本校	全国
国語の勉強は得意	47.2%	60.6%
国語の勉強は好き	44.4%	57.4%
国語の授業はよくわかる	72.2%	81.5%
算数の勉強は得意	47.2%	60.1%
算数の勉強は好き	50.0%	57.6%
算数の授業はよくわかる	75.0%	77.5%
※４段階評価のうち、肯定評価の合計		

各教科に関する質問紙の結果は左の通りとなりました。両教科とも「得意」「好き」「よくわかる」の項目で、肯定的評価が全国平均を下回っています。学習の中で、「できた」という経験や「できる」という自信を積み上げられるようにしていく必要性を強く感じます。
「できた→わかった→得意になった→好きになった→もっともっと…」というサイクルを回していけるように、授業の在り方について校内でも研修を重ねていきます。

児童質問紙より②ICT機器に関すること

	本校	全国
授業でICT機器を週３日以上使っていた	**94.5%**	68.7%
ICT機器で文章を作成できる	**72.2%**	79.1%
インターネットで情報収集ができる	**83.3%**	84.9%
ICT機器を使って、情報を整理できる	**61.1%**	69.5%
ICT機器を使って、プレゼンを作成できる	**63.9%**	74.6%
※４段階評価のうち、肯定評価の合計		

学習場面でICT機器（主にiPad）を活用することは、全国平均と比べて非常に多くなっています。その分、児童のICT機器活用能力の向上は感じられます。ですが、文章作成、情報収集や情報整理、プレゼン作成などについては、日々の学習の中で行っていても、自信をもって取り組めてはいないようです。多くの活用機会の中で、児童は着実に力をつけています。つけた力を自信につなげられるよう、クラスや学年、または他学年とも交流するなどして、フィードバックの機会を多くもちたいと思います。

全体を通した本校の成果と課題

	本校	全国
○(15)学校に行くのは楽しいと思いますか。	**86.1%**	81.7%
○(17)友だち関係に満足していますか。	**91.6%**	91.1%
○(21)普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはありますか。	**97.2%**	92.5%
▲(16)自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。	**69.4%**	77.9%
▲(22)わからないことやくわしく知りたいことがあったとき、自分で学び方を考え、工夫できますか。	**61.1%**	79.4%
※４段階評価のうち、肯定評価の合計		

現在の学校生活において、非常に前向きにとらえ、楽しめている様子が伝わります。ただ、国語や算数の質問紙から見えた「自信のなさ」が、新しい方法を考えたりよりよい方法を考えたりすることに対する苦手意識につながっているように思われます。子どもたちがより学びを楽しみ、様々な面で自信をもって生きていけるよう、これからも学校教育活動全般を通して、子どもたちの自尊感情や自己肯定感を高められるよう支援していきたいと思います。

保護者の皆様へ

全国学力・学習状況調査は、子どもたちの学習状況を知り、子どもたちの可能性を伸ばしたり、課題を解決したりするためのものです。結果が学力のすべてを表しているものではなく、順位を競うものでもありません。この結果を真摯に受け止め、今後の授業改善につなげていきたいと考えています。

また、学力は望ましい生活習慣や日々の学習習慣により定着していくものです。失敗を恐れることなく、どんどんチャレンジができる安心安全な学習環境が子どもたちの成長の土台となります。今後も学校と家庭、地域が連携して、子どもの健やかな育ちと学びの環境づくりに努めていきたいと考えています。引き続き、ご支援ご協力のほど、よろしくお願いいたします。